

# みなさんと議会を結ぶ……議会だより



令和7年11月  
No.136



題字：吉浜小学校2年 宇夫方 麻良さん



## 内 容

9月定例会	2~5
一般質問	6~9
常任委員会・特別委員会	9~11
「議会ゆがわら」題字 入選者表彰式	11
傍聴のご案内（12月議会日程）	12



本会議議案



委員会資料



会議録



本会議録画映像  
(YouTube)

## 編集/発行 湯河原町議会

湯河原町議会

検索

〒259-0392

神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1

TEL:0465-63-2111(代) FAX:0465-63-9674

メール:gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

ホームページ: http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/



町議会  
ホームページ



令和7年第5回湯河原町議会9月定例会が、9月11日から10月3日までの23日間開催され、町側から、専決処分の承認1件、条例7件（一部改正7件）、補正予算5件、決算の認定7件、土地開発公社の解散1件、人事2件、報告5件の合計28件を審議しました。



本会議議案

## 決算の認定

9月定例会に上程された令和6年度の各会計決算は、決算審査特別委員会に付託されました。

### 決算審査特別委員会

一般会計、特別会計（国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療）および公営企業会計（水道事業、温泉事業、下水道事業）の決算審査を行いました。各会計の決算内容について、慎重な審議の結果、すべての会計の決算を認定しました。また、水道事業・温泉事業会計の利益の処分についても可決しました。

（委員長）石井 溫 （副委員長）松井一寿

（委員）笠原 進、早乙女智子、松野洋一、善本真人、室伏寿美夫

### 令和6年度決算の内容

#### 一般会計・特別会計

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		116億5026万2千円	111億770万2千円	5億4256万円
国民健康保険事業特別会計		28億3652万3千円	28億3110万円	542万3千円
介護保険事業 特別会計	保険事業勘定	31億7226万8千円	30億5682万1千円	1億1544万7千円
	介護サービス事業勘定	115万8千円	0円	115万8千円
後期高齢者医療特別会計		5億9509万9千円	5億9411万7千円	98万2千円
合計		182億5531万円	175億8974万円	6億6557万円

#### 収益的収入・支出(税抜き)

#### 水道事業会計

収益的収入	収益的支出	当年度純利益
4億5309万5千円	3億5696万8千円	9612万7千円

#### 資本的収入・支出(税込み)

資本的収入	資本的支出	差引額
7284万4千円	2億8684万円	△2億1399万6千円

#### 収益的収入・支出(税抜き)

#### 温泉事業会計

収益的収入	収益的支出	当年度純利益
1億7726万1千円	1億6694万8千円	1031万3千円

#### 資本的収入・支出(税込み)

資本的収入	資本的支出	差引額
0円	4525万7千円	△4525万7千円

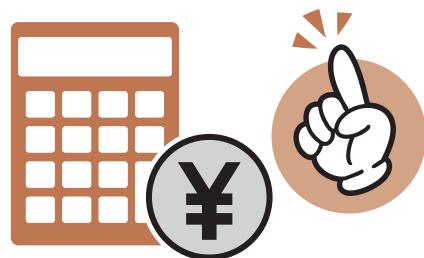
#### 収益的収入・支出(税抜き)

#### 下水道事業会計

収益的収入	収益的支出	当年度純利益
10億2453万円	10億1370万9千円	1082万1千円

#### 資本的収入・支出(税込み)

資本的収入	資本的支出	差引額
1億9334万1千円	3億8278万5千円	△1億8944万4千円



# 審議議案と結果

## 全会一致の議案

議案番号	議 案 名	結果	議決日
39	専決処分の承認について(令和7年度湯河原町一般会計補正予算(第5号))	可決	9/12
40	湯河原町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決	9/12
41	湯河原町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	9/12
42	湯河原町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正について	可決	9/12
43	湯河原町議會議員及び湯河原町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決	9/12
47	令和7年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	9/12
48	令和7年度湯河原町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	9/12
49	令和7年度湯河原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	9/12
50	令和7年度湯河原町温泉事業会計補正予算(第1号)	可決	9/12
52	決算の認定について(令和6年度湯河原町国民健康保険事業特別会計)	認定	10/3
53	決算の認定について(令和6年度湯河原町介護保険事業特別会計)	認定	10/3
54	決算の認定について(令和6年度湯河原町後期高齢者医療特別会計)	認定	10/3
55	利益の処分及び決算の認定について(令和6年度湯河原町水道事業会計)	可決・認定	10/3
56	利益の処分及び決算の認定について(令和6年度湯河原町温泉事業会計)	可決・認定	10/3
57	決算の認定について(令和6年度湯河原町下水道事業会計)	認定	10/3
58	湯河原町土地開発公社の解散について	可決	10/3
59	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	10/3
60	湯河原町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	10/3
61	湯河原町副町長の選任について	同意	10/3

## 賛否が分かれた議案と議員ごとの賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

議員名	貴田太史	笠原進	早乙女智子	上田尚彦	熊谷照男	渡辺久子	松野洋一	石井温	善本真人	松井一寿	室伏寿美夫	山本俊明	土屋誠一	結果	議決日
議案番号															
44	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：12 反対： 1	9/12
	湯河原町湯河原梅林公園条例の一部改正について														
45	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：12 反対： 1	9/12
	湯河原町温泉事業条例の一部改正について														
46	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：10 反対： 3	9/12
	令和7年度湯河原町一般会計補正予算（第6号）														
51	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：11 反対： 2	10/3
	決算の認定について（令和6年度湯河原町一般会計）														

## 議決補正予算

### 一般会計（第5号）

8,310万6千円の増額

#### 歳入

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額

#### 歳出

- ・定額減税補足給付金（不足額給付）の増額

### 一般会計（第6号）

5億9,247万2千円の増額

#### 歳入

- ・普通交付税の増額
- ・まちづくり基金繰入金の増額
- ・前年度繰越金の増額
- ・地域福祉会館整備事業に伴う町債の増額
- ・農道整備事業に伴う町債の増額
- ・土地開発公社保有用地取得事業に伴う町債の増額

など



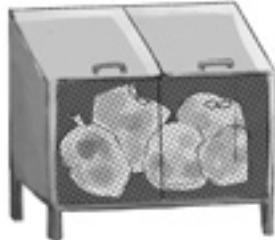
#### 歳出

- ・財政調整基金積立金の増額
- ・庁舎整備基金積立金の増額
- ・湯河原町土地開発公社保有用地取得事業の増額
- ・町村合併70周年記念事業の増額
- ・戦後80年平和演劇会開催事業の増額
- ・宮上会館整備事業の増額
- ・真鶴聖苑火葬利用補助事業の増額
- ・農道整備事業の増額
- ・ゆがわら歌舞伎まつり補助事業の増額
- ・幕山公園公衆便所整備事業の増額

など

### 一般会計補正予算の主な質疑

- ・湯河原梅林公園入園料（歳入金額の根拠について）
- ・町村合併70周年記念事業（事業内容・開催時期・当初予算で計上しなかった理由について）
- ・保育園運営経費（教材用品費の内容について）
- ・ごみ収集対策事業（ごみ集積箱設置費助成の申請状況について）
- ・都市計画総務事務経費（維持管理修繕料の内容について）
- ・防災対策事務経費（防災講演会講師謝礼の内容について）
- ・教育費事務局運営経費（いじめに関する調査委員会委員の人数、報酬額について）
- ・学校管理事務経費（管理用備品の内容について）
- ・市民レクリエーションの集い開催事業（中止の理由について）



### 国民健康保険事業特別会計（第1号）

6,286万7千円の減額

#### 歳入

- ・国民健康保険料の減額
- ・一般会計繰入金の増額
- ・運営準備基金繰入金の減額
- ・前年度繰越金の増額

#### 歳出

- ・一般管理費の増額
- ・国民健康保険事業費納付金の減額
- ・過年度償還金の増額

## 介護保険事業特別会計（第1号）

6,511万1千円の増額

### 歳入

- ・保険者機能強化推進交付金の増額
- ・介護保険保険者努力支援交付金の増額
- ・介護給付費負担金の増額
- ・前年度繰越金の増額

など

### 歳出

- ・国庫支出金等過年度返還金の増額
- ・介護給付費準備基金積立金の増額 など

## 後期高齢者医療特別会計（第1号）

350万6千円の増額

### 歳入

- ・一般会計繰入金の増額
- ・前年度繰越金の増額

### 歳出

- ・一般管理費の増額 など

## 温泉事業特別会計（第1号）

### 収益的支出（200万円の増額）

- ・送配湯管修繕費の増額

### 資本的支出（517万円の増額）

- ・温泉使用料金計算システム機器更新に伴う固定資産購入費の増額

## 条例の改正

### ●湯河原町議會議員及び湯河原町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について（議案第43号）

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用のビラおよびポスターの作成に要する経費に係る限度額を引き上げるため、条例を改正しました。

### ●湯河原町湯河原梅林公園条例の一部改正について（議案第44号）

将来にわたり継続して湯河原梅林公園の管理・保護育成をしていくため、入園料を300円に変更する条例を改正しました。

### ●湯河原町温泉事業条例の一部改正について（議案第45号）

温泉事業の健全な経営基盤を構築し、将来にわたり継続して安定的なサービスを提供していくため、温泉使用料金などの改定について、条例を改正しました。

### ●湯河原町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について（議案第60号）

みやのうえ保育園整備事業の設計変更に伴う契約延長について、管理監督責任を明らかにし、町長の給料を減額するため、条例を改正しました。

## 土地開発公社の解散

### ●湯河原町土地開発公社の解散について（議案第58号）

社会情勢の変化により、存続の意義が低下したため、湯河原町土地開発公社を解散する議決をしました。

## 人 事

### ●人権擁護委員候補者の推薦について（議案第59号）

人権擁護委員の前田牧子さんの任期が令和7年12月31日で満了となるため、引き続き前田さんを人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。任期は令和8年1月1日から令和10年12月31日までの3年間です。

### ●湯河原町副町長の選任について（議案第61号）

湯河原町副町長に尾仲富士夫さんを選任することに同意しました。任期は、令和7年10月3日から令和11年10月2日の4年間です。

※紙面の都合上、提出された議案を抜粋して掲載しています。

# 一般質問



## 質問通告1 笠原 進議員

### ①公共施設全体のマネジメントと優先順位の考え方について

Q 老朽化施設の現状と更新・改修などを進める優先順位をお示しください。

A 町内62施設のうち老朽化が進んでいるのは、役場第一庁舎をはじめ11施設で、学校、保育所施設、福祉会館の順に優先的に対応しています。

Q みやのうえ保育園は公共施設個別施設計画上、「長寿命化」方針だったが、2年足らずで「建て替え」方針に転換されました。計画自体の実効性に問題があるのではありますか。

A 着手段階で新たな課題が判明するケースも多くあります。今後も、改修から建て替えや統廃合へ変更の可能性があると考えています。

Q 海浜公園プールは毎年約1,600～1,700万円の維持費に対し、利用者は年々減少しており、来年度より指定管理となります。今後の方針はありますか。

A まずは指定管理者による民間活力を活かした活性化を期待しており、収支が悪化した場合は見直しも検討などするとともに、使用料の見直しも協議していく予定です。

Q 役場庁舎整備の整備基金は2年で約6,000万円で、明らかに不足していますが、財源確保策、スケジュールの遅れなどはありますか。

A 整備にかかる建設費は歳出削減や民間活力の活用などを検討する予定です。基礎調査による粗分析を終え、現在は基本構想の策定段階に入っていますが、プロポーザル準備の遅れにより、検討委員会開催も後ろ倒しとなりました。

Q 町民への情報発信が十分とは言えず、アンケートの継続実施や若年層の声を反映する新たな方法も検討が必要ではないでしょうか。

A 今後は進捗に応じ説明会を実施する予定です。アンケートは必要に応じて再実施する方針で、庁舎整備に限らず、若い世代の意見をより広く拾う新たな仕組みも検討していく考えです。



## 質問通告2 善本真人議員

### ①肢体不自由児の地域生活を支える環境整備について

Q 近年、重度の肢体不自由児や医療的ケア児を家庭で介護している世帯から、「在宅介護の限界」や「将来への不安」といった声が上がっています。現在、湯河原町内には、障がい児を対象とした地域密着型のグループホームはなく、保護者の高齢化により、深刻な「介護の担い手不足」が顕在化しつつあります。

「障害福祉施設等施設整備費補助金」などを活用し、町内にグループホームを整備する、もしくは、民間事業者による設置への協力、誘致、相談体制づくりを進める意向があるのか、お聞かせください。

A 障がい者のグループホームは、地域での安定した自立生活を実現するために重要な場であり、必要性は高いものと認識しています。

神奈川県の各種支援制度を活用した、民間法人による事業展開を推進し、早期の新規参入が図れるよう努めています。



### ②安全・安心な生活環境の整備について

Q 町内の歩道や道路を歩いていると垣根や枝木が、公道へ大きくはみ出している箇所を見かけます。これらの立ち木は、多くの場合、個人の所有のものですが道路法第43条では、公道に支障となる物件の設置を禁じています。公道にはみ出した垣根や枝木の指導・改善要請はどのようにされていますか。

A 個人の敷地に対して、多くの方は自己負担で管理されていますので、町の費用をかけるというのは、不公平となるので個人に対応をお願いしているところです。



## 質問通告3

### 熊谷 照男議員

#### ①目的税（都市計画税）について

Q 湯河原町の都市計画税の税率は100分の0.25です。これまでの変移と改正理由を教えて下さい。

A 駅下区画整理事業に伴い、昭和33年度から0.2%の税率を課し、中央区画整理事業の施行、下水道事業の拡大で、昭和56年度0.3%に改定し、平成9年度の中央区画整理事業終了に伴い0.27%に、平成15年度に0.25%に下げ、現在に至っています。

Q 今まで通算100億円以上住民の皆さんから徴収していますが、10年、15年かけて段階的に税率を下げて、廃止していく考えはありませんか。

A 人口の減少に伴い、町税などの一般財源の大幅な増収が見込めないとともに、下水道施設やごみ処理施設の老朽化など都市整備に係る費用が今後もさらに必要となるため、現段階において都市計画税の減額などは考えていません。

#### ②組織の改編及び職員の適正配置について

Q 地域政策課の課員による防災無線放送の忘失や集中力の欠如により、新聞などで湯河原町が報道されました。管理職の監督責任は、町長はどのようにされるのですか。

A 行政内のミス、誤りなどの不手際があった場合は、所管の管理職から職員に対して指導し、対応によって参事、特別職から指導するとともに、行政運営会議などに諮って対応を検討し、それぞれの課に共有しています。

Q 特定の課に業務が集中しています。職員を配置する人事権を使い、対応されたらどうですか。

A 忙しいからといって、そこにその場しのぎで職員を投入することはしたくありません。



## 質問通告4

### 渡辺久子議員

#### ①ふれあい農園の現状と今後の運営等について

Q ふれあい農園6か所の利用率はどのように推移していますか。

A 平成27年度末では160区画に対し152区画、95%の利用率でした。令和6年度末では119区画の利用で、利用率は74.4%です。

Q 利用者が専門家から相談を受けられる体制や、ふれあい農園で農業指導を受けられる体制についてお聞かせください。

A 農業技術の研究や普及指導活動を行っている神奈川県農業技術センター足柄地区事務所と連携し相談できるよう日程などの調整を行っています。また、同事務所やかながわ西湘農業協同組合のOBの方と日程などの調整を行い、ふれあい農園での農業指導を直接行う体制を整えています。

Q ふれあい農地の管理は通常どの程度されていますか。

A 通常、園の周りなどの草刈りは年2回委託しています。また、草が繁茂して困るという申し出があれば、その都度職員が刈っています。

Q 過去に複数区画契約者が契約期間内に場所の移動要請を受けたようですが、現在もありますか。

A 現在は2年契約の途中での場所移動は行わないこととしました。

#### ②こども誰でも通園制度の取り組みについて

Q 令和8年4月より「こども誰でも通園制度」が実施されます。幼児の「一時預かり制度」との関連および差異についてお聞かせください。

A こども誰でも通園制度は、0歳6ヶ月から3歳未満の未就学児を対象に、こどもが家庭とは異なる経験を得ることなどを目的に全国で実施されるもので、費用や制度面で一時預かり制度と相違します。詳細については、検討した上で、3月議会に条例案を提示させていただきます。





## 質問通告5 石井 温議員

### ①避難施設への空調設備の設置と災害時非常用電源の導入について

Q 湯河原町防災計画に基づく避難施設（地域会館、保育園、小学校の体育館など）のうち、空調設備が設置されていない施設があれば、お示しください。

A 本町では、湯河原小学校体育館、吉浜小学校体育館、東台福浦小学校体育館の3施設です。

Q 文科省の交付金メニューに「空調設備整備臨時交付金」がありますが、児童・生徒および利用者への熱中症対策や避難施設機能強化、耐災害性の向上を図る観点から、当該メニューを活用する考えはありますか。

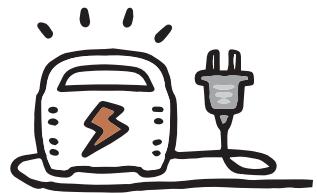
A 热中症対策として、空調設備の整備は、安全・安心な学校生活を提供するために大変有効であるものと承知しております。また、有事の際に避難者などの健康を守るためにも、環境整備が重要な

課題であり、交付金の活用を検討をしてまいりたいと考えています。

Q 経産省の補助事業として、大規模災害時などにおいても、空調機能などの施設の機能を維持することが必要な避難所などに、自衛的な燃料備蓄を推進するための事業がありますが、非常用電源のない避難施設への導入はありますか。

A 現在、防災コミュニティセンターにつきましては、一定程度の電力を賄うための非常用発電設備を設置し、その他の施設につきましては、空調設備を運転できる電力の確保はできておりません。

ただし、非常用電源設備は大規模なものとなるため、確保に当たってはコスト面や各施設の設置場所などの課題を整理しつつ、太陽光やディーゼル、ガスなど各種非常用発電設備のメリット、デメリットなどを研究し、慎重に判断していきます。



## 質問通告6 上田 尚彦議員

### ①鳥獣対策（特にニホンジカ）について

本町におけるシカの被害が顕在化する前に、早急に対策を練らなければならないと思い、質問します。

Q 本町におけるシカの被害および目撃報告の件数を把握されていればお聞かせください。

A 令和6年度実績では、脅威を感じたという生活被害が宮上で1件、食害にあった農業被害が鍛冶屋で2件、吉浜で2件の計5件ありました。

Q シカに特化した管理計画などはどのようなものか、お聞かせください。

A イノシシの有害捕獲時にあわせて、管理捕獲を実施しています。

Q 現在の狩猟者の人数をお教えください。

A 狩猟者の人数は、猟友会が14名、農業者などの農業免許保有者が39名の計53名です。

### ②狭い道路拡幅事業について

Q 幅員4m未満の狭い道路は、町民生活の安

全・安心を脅かす存在となっています。本町の狭い道路の現状はどのようになっていますか。

A 町が管理している認定道路746路線、総延長約142kmのうち、狭い道路の道路延長は約75kmで、総延長の約53%となっています。

Q 国土交通省作成の「狭い道路拡幅のガイドライン」を参考に、本町では対策を計画されていますか。

A 基本方針の策定について、検討しているところです。

Q 狹い道路拡幅部分の分筆登記、地目変更登記、拡幅部分を買い取るなど実施していく計画はありますか。

A 先進的な自治体を参考にしながら、解消を進めるため具体的な施策を検討していきます。





## 質問通告7 早乙女智子議員

### ①湯河原町の「男女共同参画政策」について

Q 2025年4月から新しい「ゆがわら男女共同参画プラン」が施行されています。湯河原町の取組として具体的に進展した点は何ですか。

A 町の取組として、役場庁舎の女性用トイレにDV防止啓発カードや生理用ナプキンを置いています。「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づいて本町の男女共同参画社会の実現を図っていきます。

Q 薬局で販売できるようになった緊急避妊薬の費用補助を町独自に行なうことは可能ですか。

A すぐに実現することは難しいですが、前向きに検討したいと思います。

### ②町政のデジタル化について

Q 人口減少・少子高齢化社会の進行や、社会経済構造や人々の働き方・暮らしの変化、自然災害・感染症等の危機事案の頻発など、迅速な対応が求

められており、その手段の1つが「デジタル化」とされています。湯河原町のデジタル化はどうなっていますか。

A 職員の事務処理の負担軽減、効率化を図るため、議事録作成支援システムや、生成AIの導入を検討しています。

Q 町からの情報発信や情報開示は十分とお考えですか。

A 情報発信が遅れている部分もあるかと思いますが、最低限をホームページに掲載しています。

### ③「コキアの郷」について

Q 今後の事業計画はどうなっていますか。

A 継続予定です。

### ④副町長を置かない町政について

Q 町長の負担が大きいのではないでしょうか。

A 副町長の代行は町長の責務として行っています。※10月3日付で副町長が就任されました。

«その他の質問»

### ⑤進行中の事案について

## 常任委員会・特別委員会

### 総務文教・福祉常任委員会

(9月24日開催)

＜案件＞

#### ●機構改革(案)について

現在20課(室)39係1所4園体制の町長部局の機構を、令和8年4月1日付で17課(室)36係1所4園とする案の説明を受けました。

委員からは、課・係の新設・統合の基本的な考え方や、税務収納課の統合後の事務事業への影響、こども支援課と保健センター統合後の課の名称について、町民に分かりやすい名称の設定について、グループの統廃合についてなどの質問や意見がありました。

#### ●コミュニティバスの運賃改定(案)について

物価高騰などにより令和7年度から運行経費が増額となっているコミュニティバスにおける、現状および近年の推移について説明を受け、現行の大人210円、こども110円の運賃を約20%増額し、令和8年4月から大人250円、こども120円としたとの説明

※紙面の都合により、一部抜粋して掲載しています。

を受けました。

委員からは、運行経費が令和6年度から令和7年度に大幅に(約60%)増加した要因・根拠について、運賃の上げ幅を20%とした理由、二段階制の運賃設定の検討、運賃見直しの期間、運行における町負担額と受益者負担の考え方についてなどの質問や意見があり、提示のスケジュールを見直し、改定額を町側から再提示し、協議することを委員会で決定しました。

#### ●住宅リフォーム補助金等の補助期間について

これまで期間を延長してきた住宅リフォーム補助金は令和8年3月31日の申請をもって終了し、組積造撤去等補助金・住宅庭木伐採等補助金・防犯カメラ設置助成事業補助金は期限を2年間延長し、令和10年3月31日の申請期限とする説明を受けました。

委員からは、住宅リフォーム補助金の町内経済効果についてや、補助期間を終了した場合の再開の考





え方、住民票の有無による申請数、町民への補助率の更なる優遇について、各補助メニューの需要、補助要件(回数制限)の緩和を含めた要綱の見直しについてなどの質問や意見がありました。

#### ＜報告事項＞

##### ●町村合併70周年記念式典事業計画(案)について

事業の開催概要の説明を受け、委員からは、参加人数の算定根拠についてや、第2部のアトラクションの時間配分と内容、観光大使の活用について、記念抽選プレゼントの目的と内容についてなどの質問や意見がありました。

### 環境・観光産業常任委員会

(8月21日開催)



委員会資料

#### ＜主な案件＞

##### ●真鶴聖苑での火葬利用に対する補助金交付制度(案)について

熱海市火葬場の被災により真鶴聖苑で熱海市民の火葬を受け入れていることに伴い、町民が火葬に付されるまで以前より日数を要することが多くなり、費用が増額する状況になったため、熱海市民の火葬の受入期間については補助金を交付する制度を創設したいとの説明がありました。

委員からは、細部の意見もありましたが、総論了承となりました。

#### ＜報告事項＞

##### ●ゆがわら歌舞伎について

2024年度観光庁のインバウンド事業の採択を受け、湯河原芸妓屋組合稽古場(見番)を会場に、湯河原を題材にした新作歌舞伎を上演し、高評価をいただきました。出演者の「成駒屋」から湯河原で再演したいとの声もあり、体験型高付加価値化観光商品の定着と持続的展開を目指し、今年度も実施したいとの説明がありました。

(9月19日開催)

#### ＜主な案件＞

##### ●湯河原町都市マスタープラン(素案)について

土地利用をはじめ、道路、公園、下水道などの都市施設、防災、景観などの様々な要素に関して、方向性を示し、実現していくことを目的に策定している湯河原町都市マスタープランの目標年次を迎え、令和3年に策定された湯河原町総合計画などとの整合性を

図りながら、将来の社会情勢に的確に対応し、持続可能な都市づくりを目指し、計画の改正を行うとの説明がありました。

委員からは、湯河原町総合計画と都市マスタープランとの整合性の分かりづらさ、アンケートの表記の仕方などの工夫の必要性などを踏まえ町民の意見を吸い上げる方法の検討をとの意見が出されました。



#### ＜報告事項＞

##### ●ゆがわら軽トラ市について

前回の委員会を踏まえた再検討報告がなされ、実施に向けての実行委員会の設置準備が進んでいくことや日曜観光朝市との協議についての説明がありました。

##### ●ニホンザルT1群の全頭捕獲に向けた進捗状況について

神奈川県への要望提出に続き、政党への要望活動も行った旨の報告がありました。

委員からは、町民はもちろん観光客に影響があるので今後も引き続き要望して欲しいとの要望が出されました。



##### ●ゆがわら海藻プロジェクト進捗状況について

本プロジェクトについて、福浦漁業協同組合と実証実験の合意を得たため、今後、3種類の海藻の種を冬までに設置するとの説明があり、また、温泉熱を利用した海藻由来の醤油製造については、現在は、実証実験を行おうとする際に必要な設備などを検討しているとの報告がありました。

### 公の施設等整備調査特別委員会

(9月24日開催)



委員会資料

#### ＜案件＞

##### ●地域福祉会館整備事業(鍛冶屋会館)について

これまでの本委員会の協議の中で、改修だけではなく建て替えも検討することを提案したことを踏まえ、現在の会館の利用状況や鍛冶屋会館との意見交換の結果の報告とともに建て替え費用の試算などの説明がありました。

委員からは、建て替える場合の建物と駐車場の位置についてや仮移転についての質問がありました。

また、委員会として、建て替えの方向で検討を進める方針を決定し、町側に伝えました。

#### ＜報告事項＞

##### ●公共施設の使用料の見直しについて

現在の各公共施設の使用料の説明と、今後の使用料見直しを行う際の検討事項についての報告がありました。

委員からは、使用料設定の根拠についての質問がありました。

## 広域行政特別委員会

(8月22日開催)



委員会資料

#### ＜案件＞

##### ●令和7年度第1回熱海・湯河原広域行政推進協議会について

令和6年度会務報告・推進事業の経過・協議会決算(案)、協議会役員の改選、令和7年事業計画(案)・協議会予算(案)について説明がありました。

## 教育・保育の在り方調査特別委員会



(9月19日開催)

委員会資料

#### ＜案件＞

##### ●みやのうえ保育園整備事業について

みやのうえ保育園を保育所型認定こども園として整備を進めたい考えや見直した園の図面についての説明がありました。

委員からは、こども園にした場合の保護者側のメリットについてや現場の保育士とのすり合わせ、収納スペースの仕様についてなどの質問がありました。

また、保育所型認定こども園の方向で進めていただくよう委員会決定し、町側に伝えました。



## 「議会ゆがわら」題字 入選者表彰式

10月26日(日)に議場にて「議会ゆがわら」題字入選者表彰式を開催しました。

湯河原町議会では、町民の皆さんに親しまれ、身近な広報紙となるよう、小学生の部、中学生の部でそれぞれ1・2年生を対象に題字の募集を行っており、今年度も多数の応募をいただきました。ご応募いただきました皆さん、ありがとうございました。

なお、入選者の作品は今回の136号の表紙から順次掲載いたします。(特別賞を除く)



#### 【令和7年度入選者】

- ・湯河原小学校 2年 日吉絢美さん
- ・吉浜小学校 2年 宇夫方颯良さん
- ・東台福浦小学校 1年 梶沢日彩さん
- ・湯河原中学校 1年 杉山基晟さん
- ・湯河原中学校 1年 古本彩乃さん(特別賞)

※次の2作品は特別賞の作品です。

議会ゆがわら表紙以外の議会活動に活用させていただきます。



# 総合防災訓練

9月28日（日）に湯河原町総合防災訓練が開催されました。

各議員は、各自治防災組織で実施されたそれぞれの訓練に参加し、地域の皆さんと防災意識の向上を図りました。

その後、災害対策本部が設置された防災コミュニティセンターにて全員協議会を開催し、被害状況の確認などの訓練を行いました。

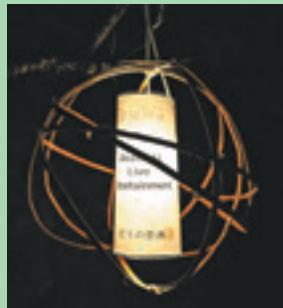


ゆがわらのいいね!

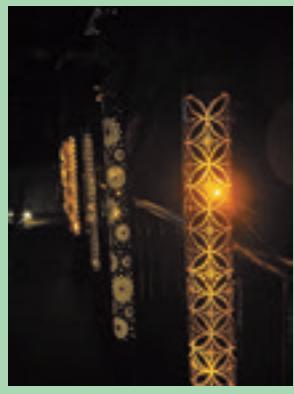


10月4日(土)・5日(日)  
に万葉公園で「万葉の竹あかり」が開催されました。

様々なデザインをこらした竹灯籠から柔らかな光が放たれ、川のせせらぎとともに光の道を散策できる幻想的な空間が広がっていました。



▼川の道の足元を照らす光と滝



▲ひとつひとつ異なる  
デザインの竹灯籠

## 傍聴のご案内

本会議および常任・特別委員会は、傍聴ができます。  
【受付】会議開始1時間前から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

【定員】本会議：20名、委員会：6名 ※先着順

## 12月議会日程

11月27日(木) 10:00 本会議（一般質問）  
28日(金) 10:00 本会議(条例・補正)  
12月3日(水) 10:00 環境・観光産業常任委員会  
終了後 教育・保育の在り方調査特別委員会  
終了後 公の施設等整備調査特別委員会  
12月5日(金) 10:00 総務文教・福祉常任委員会  
終了後 広域行政特別委員会  
8日(月) 15:00 本会議（委員長報告）

※11月5日時点の予定のため、変更の可能性があります。最新の議会日程については、町議会ホームページでご確認ください



議会日程

## 編集後記

例年行われてきた「議会ゆがわら」の題字の募集を今年度も行いました。本年も夏休みの課題として、小・中学生の皆さんに書いていただき、感謝申し上げます。

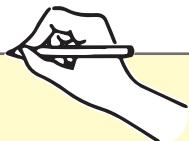
今回も優秀作品が数多く、編集委員も選考するのに大変苦慮させられました。

役場の議場にて表彰式を開催し、入賞者の皆さんには直接感謝の言葉をお伝えできました。

この題字募集を通して小・中学生世代からも政治や議会に興味や関心を持っていただけたらと思います。

これからも町民の皆さんにわかりやすく、開かれた議会を目指して、編集委員一同研鑽に努めて参りたいと思います。

(石井 温 記)



## 議会だより編集委員会

委員長 石井 温

副委員長 室伏寿美夫

委員 笠原 進 上田 尚彦

熊谷 照男 善本 真人